

キーレス専用セキュリティ

MODEL 46-AA03

取付／取扱説明書

このたびはツーフィットの製品をお買いあげ頂き、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取付／取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後もお手元におき、ご活用ください。

本製品の特徴

純正のキーレスエントリーや後付キーレスのリモコンでドアをロック、アンロックする動作に連動してアンサーバック（ハザード点滅&サイレン音）とセキュリティのオン、オフができる自動車用セキュリティです。

搭載している機能

- ショックセンサー（感度調整はダイヤルネジで 無段階に調整可能）
- スターターカット（イモビ機能）でエンジンがかからないように出来ます。（オプション品別売）
- ドアトリガーセンサー（ドアを開けるとサイレン音で威嚇）
- セキュリティ動作中LEDランプの点滅で威嚇
- オプションセンサーをワンタッチカプラーで追加可能（車両周りや車内の変化を感知）
- ハザードアンサーバック機能（ダイオード内蔵で左右ウインカー線に直接接続可能）
- サイレンアンサーバック機能（本体スイッチの切り替えでサイレンのオン・オフ可能）

目次

1 安全上の注意	P 2	4 内容物一覧	P 4
2 使用上の注意	P 3	5 取付要領	P 5
3 取付に必要な工具	P 3	回路解析依頼票	P13
オプション品について	P14		

1 安全上の注意

本製品は安全に十分配慮した設計／製作を行っております。しかし、電気製品は取扱方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次の点をお守りください。

表示区分の説明



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなどの危険の発生が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

..... 警告

- 配線の切断／接続時には、銅線の先端の取扱に十分注意してください。むき出しの銅線の先端が指先等に刺さり思わぬケガをすることがあります。
- 取り付け後、製品が正常に作動しない場合は、再度、配線状態を確認し、誤配線があれば正しくやり直してください。配線が正常にもかかわらず作動しない場合、通電をやめて再度配線を確認してください。
- 本製品は12V専用で作られています。24V仕様ではお使いになれません。また、家庭用コンセント等には絶対に接続しないでください。
- 取付の際、および使用中にサイレンの音で鼓膜を痛めないようご注意ください。
- 取付作業前に必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を接続したままの取り付けはショートや感電など重大な事故につながります。
- ※. バッテリーマイナス端子を取り外す際、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取付完了後に再入力してください。
- 本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。保証・サービスの対象外となります。

..... 注意

- 製品を本来の目的外に改造された場合や外国で使用した場合の責任は一切負いません。
- 本製品は原則として、開封後の返却には応じられません。また、取り付けの際、万が一、製品及び車両の破損、事故、作業中のケガ等が発生しても当社は一切責任を負いません。取り付けの際は十分注意してください。
- 本製品は自動車のみで使用してください。付属品以外のアクセサリを使用すると本製品にダメージを与えたり、事故の原因となりますのでおやめください。

2 使用上の注意

- 本製品は誤作動防止のため、ドアが開いている時はアンサーバックしません。
- 本製品は連続してご使用にならないでください。本体や車両の故障の原因になります。
- CANBUS搭載車はCANBUSアダプタと組み合わせて取り付けるか別売ドアセンサー等を使って取り付けてください。ベンツの一部にはお取り付けできない場合がございます。
- アメ車やBMWの一部、E 4 6、E 3 9（後期）などはオプションの平行ダイオードが2セット必要になる事があります。これはウインカーの車両配線が左右と前後に独立しているためです。車両配線図で確認して下さい。
- 急ブレーキ等の振動、揺れでメインユニットが飛ばないようにしっかり車に固定してください。
- 配線は手や足が引っ掛からないような位置に行ってください。
- サイレンに耳を近づけすぎないようにしてください。（特に、お年寄りや子供などの同乗者）
- 本体は水に濡れないよう十分注意してください。水は電気回路を傷める原因になるだけでなく感電する恐れもあります。
- 本体とリモコンを高温や直射日光の当たるところに置かないようにしてください。各電気パーツの寿命をだけでなく、本体樹脂が歪んだり、溶けたりバッテリーが破裂するおそれがあります。（耐熱 -20℃～+80℃）
- 製品を落とさないよう気を付けてください。落下によって製品が正常に操作できなくなることがあります。また、製品の寿命を縮めることにもなります。

3 取付に必要な工具

本製品の取り付けにあたり、次のような工具及び部材を別途ご用意ください。

工具

ドライバー（+/-）、小型ドライバー、スパナ、メガネレンチ、内装外し、電動ドリル、ニッパー、ラジオペンチ、電工ペンチ、ハンドテスター（検電ランプ※注。）

※注. 検電ランプでも分岐・接続する信号の検出は可能ですが、車種によっては出力される電圧を正確に見極める必要が生じます。その場合、ハンドテスターをご用意ください。

部材



ギボシ端子（オス/メス）
オス用スリーブ、メス用スリーブ



クワ形端子



エレクトロタップ

4 内容物一覧

取付作業前に、部品がすべて揃っているかの確認を行ってください。



キーレス専用セキュリティ本体



LOCK/UNLOCK ドアトリガー
入力ハーネス



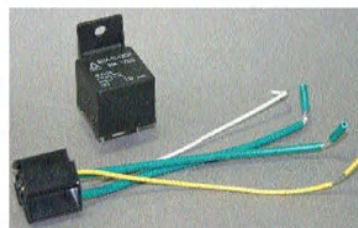
外部サイレン



LEDランプ



電源入出力ハーネス



スターターカット用
チェンジオーバー型リレー
オプション 46-OPRE1



ショックセンサー
（感度調整機能付）



センサー専用
ハーネス



オプション 46-4112
ON/OFF
スイッチ

別売り／オプションセンサー

●マイクロウェーブセンサー

¥4000（税別）



車の周りにバリアーを張り、車両への接近や車両付近でのうろつきをマイクロ波で感知します。

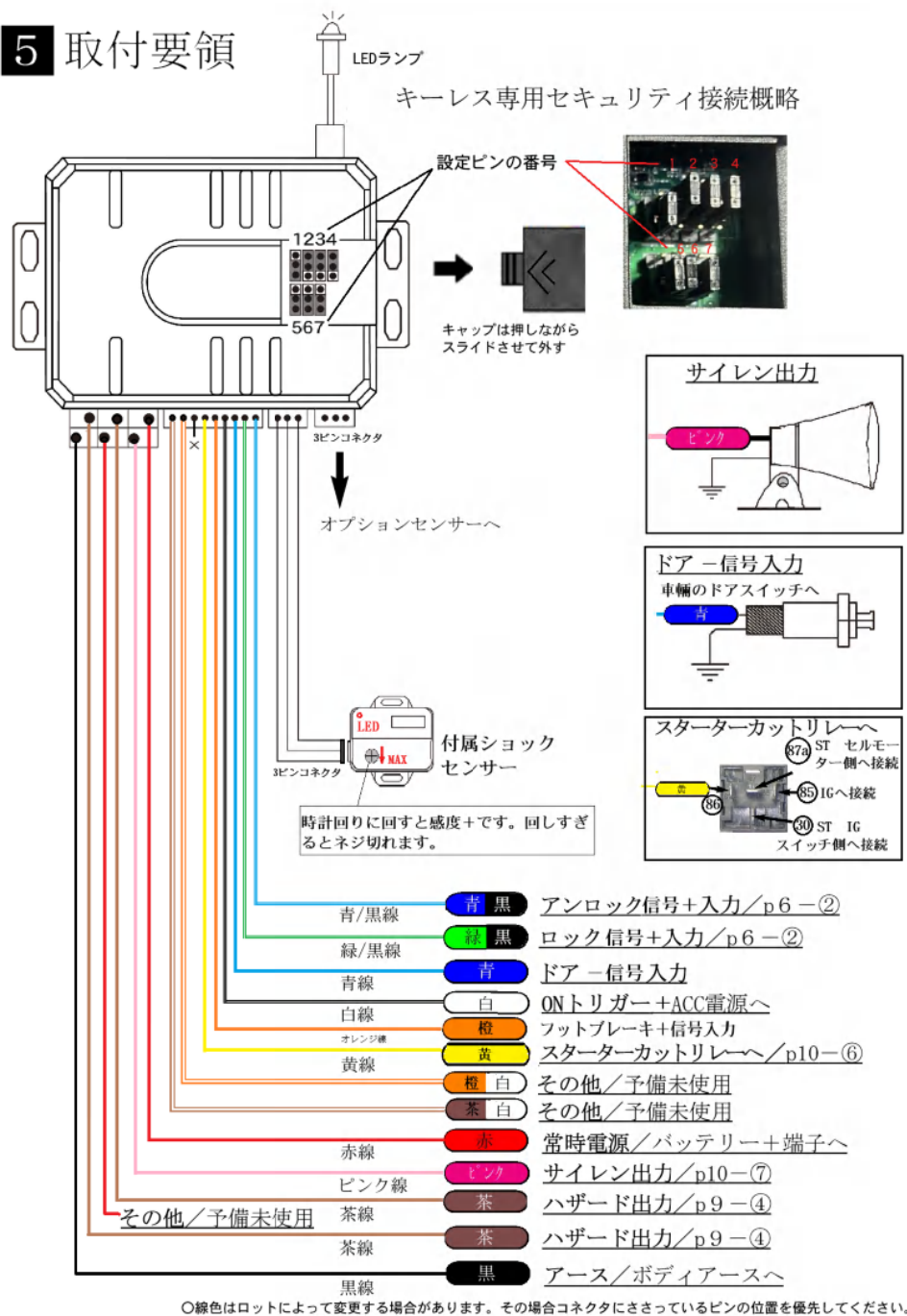
●ウルトラソニックセンサー

¥5000（税別）



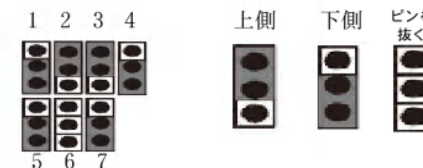
ウルトラソニックビームによるモーションセンサーで車内の波形の変化を感知します。

5 取付要領



① 設定ピンについて

設定は、必ず本体にカプラを差し込む前に行ってください。装着後 ピンを差し替えると作動しなくなったり誤作動することがあります。



	1	2	3	4	5	6	7
ファンクション	ドアトリガー ※注2	ドアロックトリガー ※注2	ドアアンロックトリガー ※注2		サイレンアンサーバック	ピンを抜く	サイレン
上側	+トリガー	+トリガー *	+トリガー *		鳴らない *		解除 *
下側	-トリガー *	-トリガー	-トリガー		鳴る(+)		ON

※注1. デフォルトの場合はそれぞれのピンを*がついたように設定してください。
※注2. 本体に人力する車両の信号極性を正しく設定しないと破損・損傷の原因になります。

- サイレンピン5を上側にした時：アンサーバック音は鳴りませんが異常時のサイレンは鳴ります。
- サイレンピン7を上側にした時：アンサーバック音も異常時のサイレンも鳴らなくなります。

② 車両信号線の検出および結線

ドアロック信号線 緑 黒

ドアアンロック信号線 青 黒

信号線は車両のドアロックユニットから分岐できますが、設置場所やコネクタのピン配列が不明な場合は運転席ドアの内張りを外し、ドアロックモーターの作動配線に分岐・接続するのをお勧めします。ドアロックモーターはドアロックの近くに設置されていて見つけやすく、接続されている配線(信号線)を判別しやすいからです。

●信号線の見分け方

- ① 運転席ドアのドアトリム(内張)を取り外します。
- ② ドアロックに接続されているロッドを辿って、ドアロックモーターを見つけます。
- ③ ドアロックモーターに接続されている配線の色を確認します。
- ④ その配線をドアの中央付近まで辿っていき、分岐しやすい場所で表面に巻かれているテープを剥がして配線を剥き出しにします。
- ⑤ 確認した配線色と同じかチェックします。
- ⑥ ハンドテスターを用意し、DCレンジにセットします。
- ⑦ テストリードの黒線(検電ランプの場合ワニロクリップ)をボディアースに接続します。
- ⑧ 剥き出しにした配線に直接、もしくはドアロックモーターのコネクタ端子にピンを刺し、テストリードの赤線(検電ランプの場合検出針)を接続します。

- ⑨集中ロックを動かし、常時0Vで動作時に一瞬12Vが出力、あるいは常時12Vで動作時に一瞬0Vになる線を2本、識別します。(純正リモコンドアロックの場合、ロックノブの動作検出スイッチが内蔵されているため、複数本の配線が接続されてます)
- ⑩識別した2本の配線が、常時0Vで動作時に一瞬12Vが出力された場合「プラスコントロール」。常時12Vで動作時に一瞬0Vになった場合「マイナスコントロール」です。

●マイナスコントロールの場合

- ①ロックしたときに一瞬0Vになる配線にドアロック信号線(緑/黒線)を接続します。
- ②アンロックしたときに一瞬0Vになる配線にドアアンロック信号線(青/黒線)を接続します。
- ③設定ピンの2と3を下側にします。



●プラスコントロールの場合

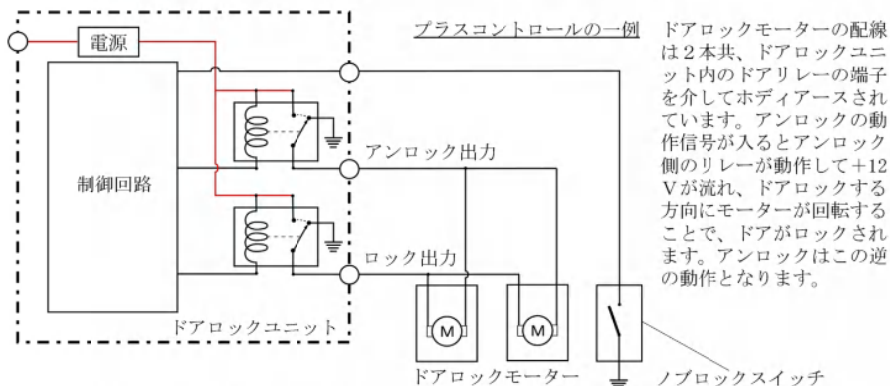
- ①ロックしたときに一瞬12Vが出力される配線にドアロック信号線(緑/黒線)を接続します。
- ②アンロックしたときに一瞬12Vが出力される配線にドアアンロック信号線(青/黒線)を接続します。
- ③設定ピンの2と3を上側にします。



ドアロックには「マイナスコントロール」と「プラスコントロール」の2種類の制御方式があります。

「マイナスコントロール」はドアロックモーターに接続されている2本の配線に+12Vを流しておき、動作させるときに片側一方をボディアースに落とします。

「プラスコントロール」はドアロックモーターに接続されている2本の配線をボディアースに落としておき、動作させるとき片側一方に+12Vを流します。



●CANBUS搭載車 はCANBUSアダプタと組み合わせて取り付けるか別売ドアセンサー 等を使って取り付けてください。

③ドアトリガー線の接続

ドアトリガー信号線(青線)

ドアトリガー信号線はドアを開けたときに電圧が変化する信号線です。ドアを開けるとルームランプが点灯します。そのセンサースイッチ(ドアピンスイッチ)に接続されている配線がトリガー線で、これにも2種類の方式があります。

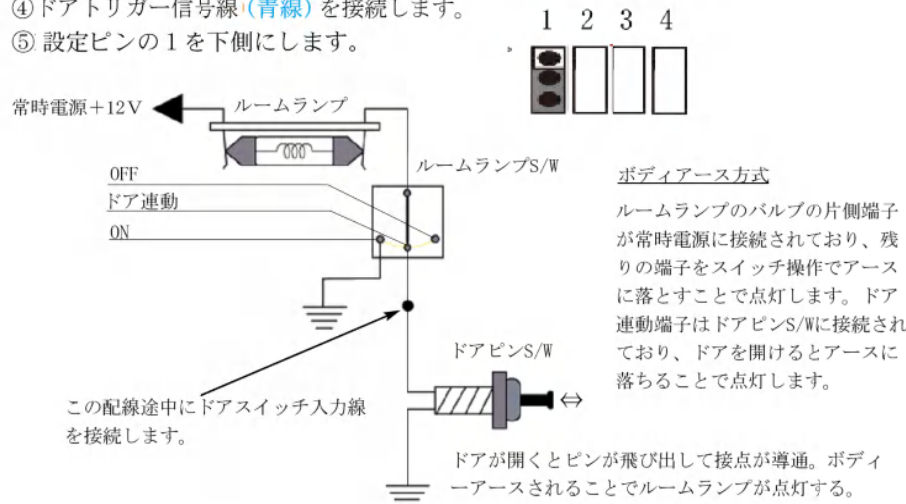
日本車はほとんどが、ドアが閉まっているときは+12V、ドアを開けると0Vになる「ボディアース方式」で、米国車の一部にドアが閉まっているときは0V、ドアを開けると+12Vになる「プラス方式」が採用されています。

●ドアトリガーの結線方法

ドアトリガー線を確実に分岐できるのは、各ドアに取り付けられている「ドアピン」スイッチ位置です。ただし、1箇所1配線で全ドアの開閉を検知できる場合もあれば、各ドア毎に数本の配線を接続しなければならないケースもあります。このような場合、「半ドア警告灯」の表示を狂わさないために、それぞれのドアトリガー取得線に「整流用ダイオード(1A)」を中継させる必要があります。あるいは、ルームランプ位置からドアトリガー線を分岐する必要があります。

●ボディアース方式の結線

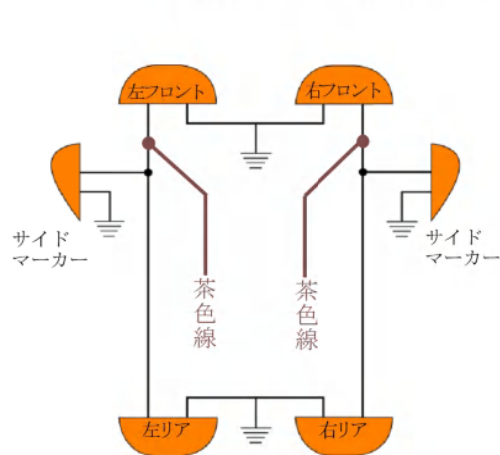
- ①Bピラーのトリム(内張)を取り外し、ドアピンスイッチの配線を引き出します。
- ②ハンドデスターをDCレンジにセットし、黒テストリードをボディアースに接続。コネクタ端子にピンを刺し、赤テストリードを接続します。
- ③ドアが閉まっているときは+12V、ドアを開けると0Vになるか確認します。
- ④ドアトリガー信号線(青線)を接続します。
- ⑤ 設定ピンの1を下側にします。



④ハザードアンサーバックの結線

ハザード出力線(茶色／2本)

ウインカーの+主線に結線します。通常、左右2系統に分かれていますので左右それぞれの線を見つけ出し、別々に結線してください。取り出し位置はハザードスイッチのコネクター部、もしくはフロントウインカーの配線を分岐して接続してください。



ウインカー配線が
4系統に分かれている場合

●ハザード点滅キット 46-OPPD
¥1750 (税別)

電気の逆流を防止するユニットです。ウインカー配線が前後／左右と4系統に分かれている場合、これを利用することで車両ウインカー回路に干渉することなく、2系統にまとめることができます。取り付けは左右のウインカー線にかませるだけですが、利用する際は基本的に2セット必要になります。

※. 米国車等、一部の車種は、左右に加え前後4系統に分かれていることがあります。この場合、当社オプション品のハザード点滅キットを2セット使用しての結線となります。

※. 純正キーレスでハザード点滅している場合、結線せずに絶縁してください。

⑤室内用スイッチ／LEDランプの結線

室内用スイッチ 立体駐車場での駐車時や車両を第三者に預けるときにシステムをOFFにするためのスイッチです。

室内用スイッチは オプション品(MODEL:46-4112)です。常時電源線の間に接続してください。ただし、このスイッチはセキュリティ機能をON/OFFするためのスイッチですので、車内の目立たない場所に取付けてください。取付けなくても作動上の問題はありません。



LEDランプ

LEDランプは動作確認と、威嚇効果の2つの役割を持っています。ですので、インパネやドアトリム上部など、車外から目立つ位置に取付けてください。

⑥スターターカッターの結線

接続は任意です。最近のイモビライザー既装備車には不要です。

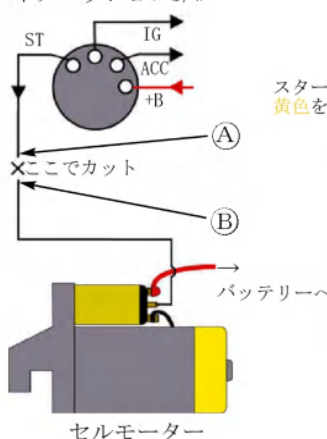
スターターカット線(黄色)

イモビ機能を作動させるための配線で、イグニッションキーに接続されているスターター線(ST)をカットし、リレーを割り込ませる形に接続。そのリレーの制御端子にスターターカット線(黄色)を接続します。

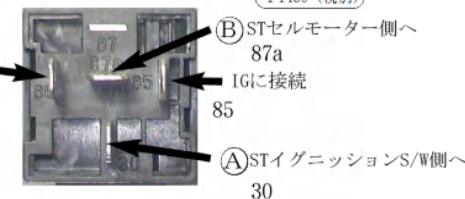
イグニッションS/W

●外付リレーの接続方法(オプション)

オプション品
46-OPRE1
¥1450 (税別)



スターターカット線
黄色を接続する



★ワンポイント★

イグニッションキーハーネスのスターター線(ST)の判別が付かないときは、セルモーターに取り付けられているスターターリレーの制御線位置で割り込ませても、同様に機能させることができます。

⑦サイレンの取り付け

サイレン出力線(ピンク色)

エンジンルーム内で、高温になったり雨水が直接かからない場所を選定し、取り付けてください。サイレン出力線はサイレンの赤線と接続。サイレンの黒線はボディアースしてください。

⑧ショックセンサーの調整

本製品は、ショックセンサーの感度を調整することができます。ご使用の状況に合わせて調整してください。

左に回すと感度が下がる



右に回すと感度が上がる

※. 調整ツマミには強い力を加えないでください。センサーを破損するおそれがあります。

※. 調整ツマミを回しすぎるとネジ切れますので、ご注意ください。なお、ネジ切り等は保証対象外の有償修理となります。

⑨動作確認・操作方法

本製品は、今お使いのキーレスエントリーのリモコンで操作します。全ての取り付けが完了したらバッテリーマイナス端子を元通り取り付け、動作確認を行ってください。

●操作方法

①キーレスのリモコンでドアロックを行います。

ロックするとセキュリティがONになり、ハザード点滅1回、サイレン音1回で動作をお知らせします。ロックするとLEDランプが点灯して6秒するとゆっくり点滅*します。

②キーレスのリモコンでドアのアンロックを行います。

アンロックするとセキュリティがOFFになり、ハザード点滅2回、サイレン音2回で動作をお知らせします。アンロックするとLEDランプは無点滅になります。

※. 乗車されてエンジンスター前にドアロックをするとセキュリティがONとなります。ご注意ください。

●作動時の動作一覧

	リモコン操作	セキュリティ状態	ハザード	サイレン	LEDランプ
ON	ドアLOOK	ON (待機状態)	1回点滅	1回	点灯→点滅
OFF	ドアUNLOOK	OFF (解除)	2回点滅	2回	無点滅

★ロックするとLEDランプが点灯し約6秒後に点滅します。

★ロックボタンを1回押すと約15秒後にセンサーは作動します。

〈セキュリティ動作時〉

外部からの衝撃	ハザード	サイレン	LEDランプ
軽い衝撃	遅い点滅	10回鳴る	点灯
継続的な衝撃 (5秒以内)	早い点滅	30回鳴る	点灯
ドアの開閉 エンジン始動	システムが作動 すぐく早い点滅	連続音	点灯

★駐車時ドアがちゃんと閉まらずACCがOFFの場合 ハザードが30秒間点灯します。

●駐車中ドアが開いているとハザードライトが光ります。

●セキュリティがアーム時ドアが開いたり衝撃を受けそれを解除する際にはサイレンが5回鳴ります。

動作しない場合に考えられる原因

●ボディアースがきちんとアースに落ちていない

本体ユニットのアース線(黒線)を金属面にねじ込まれた既存のねじやボルトに接続していた場合、固定されている金属面がバッテリーのマイナス端子に確実に繋がっているか確認(導通テスト)してください。車内に取り付けられている金属プレート面は樹脂パーツに固定されていたり、取付ネジが塗装で絶縁されたり電気が流れにくくなっているケースが多々あります。ですので、アース不良の場合はバッテリーのマイナス端子に直接、接続してみてください。

●車両側常時電源の電圧不足

バッテリーが弱っていないか、また常時電源を分岐した配線から12V以上(バッテリーが正常で元気な状態なら、エンジンを停止している状態でも12.5V以上の電圧を発生します)の電圧が出ているかハンドテスターを使用して確認してみてください。

●常時電源(12V)が本体ユニットに通電していない

常時電源線(赤線)が確実に接続されているかどうか。赤線に取り付けられているヒューズが切れていないか確認してください。

●ドアロック・ドアアンロック信号が間違っていないかどうか

マイナスコントロール方式で配線している場合は信号が認識しづらい可能性があります。トヨタ車など出力信号が完全に0Vになりきらない車種があるからで、ハンドテスターを使用して信号線から出力される電圧を再度、確認してみてください。この場合、ドアロックモーターが動作する際、モーターに流れる12V(プラス信号)を検出するよう配線を変更し、設定をプラスコントロール方式に変更してください。

●念のため設定ピンの位置を再確認してください。

●本体ユニットからカプラを外し、しばらく放置後、再度接続して確認(リセット)

本体ユニットからカプラを外した状態で10分以上放置すると初期設定状態に戻り、正常になる場合があります。

●本製品の動作チェックをして製品が正常に動作しているか確認

本体ユニットの動作チェックを行い、本製品に問題がない場合は配線など再度、見なおしてください。

回路解析依頼票

取付方法がわからない場合、車両ドアロックリレーとドアロックモーター及びライト・ハザード、ドアスイッチ、その周辺の回路図、脱着に必要なディーラー等で入手された車種別マニュアルのコピーを、下記の申込用紙に車検証(個人情報は黒府塗りして下さい)を添えて郵送(FAX等は一切受け付けておりません)してください。約1週間で取り付け位置を記入し返信いたします。送付先：〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町5-75-1 ツーフィット 回路解析係

..... ↓ 必ず同封ください ↓

車種：	形式：	年式：
返送先ご住所： 〒		
連絡先電話番号：		ファックス番号：
お名前：		

MODEL：AA-03

注意 ※. 本説明書をお読みになって取付について理解できない方は、専門の取付業者へ取付をご依頼くださることをおすすめします。配線ミスをされますと製品が車両を損傷させることがあります。

2025MAY作成

TO FIT

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしております。取り付けに関しましても、この説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

ツーフィット株式会社 〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町5-75-1 www.to-fit.co.jp

オプション品について

バックアップサイレン
MODEL46-AA02B



サイレンの配線を切断されても音が鳴り続けます。

ウルトラソニックセンサー
46-AA02U



車内の空圧等の異常を検知

パラレルダイオード
46-OPPD



各ウインカーが独立制御している車両用

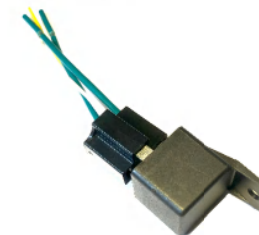
ドア開閉検知センサースイッチ

46-OPSW



CANBUS車等でドアロック/アンロック12V信号がとれない車に

スターターカットリレー
46-OPRE1



エンジンのスターターの防犯をします。

マイクロウェーブセンサー
46-AA03M



車両の周辺のうろつき等を検知

メイン電源ON/OFFスイッチ
46-4112



立体駐車場や整備工場に車を預けるとき用に